

ツイート収集を利用した個人に対する 観光地推奨システム

D-4

System to Recommend the Sightseeing Spots to
Person by Collecting Tweets

小林 峻也 伊與田 光宏

Syunya KOBAYASHI Mitsuhiko IYODA

千葉工業大学 情報工学科

Department of Computer Science, Chiba Institute of Technology

1 はじめに

2020年のオリンピックに向け観光振興も盛んになっており、それに伴って観光名所の混雑が予想される。その問題の解決手段としてSNSのひとつであるTwitterを利用することを考えた。Twitterとは「ツイート」と呼ばれる短い文章の投稿を画像や動画付きで個人単位で発信することができる。各種SNSの中でLINEに次ぐ国内第2位の利用者の規模を記録しており、注目を集めている。近年では、SNSにより観光地として正式に登録されていない場所も個人の紹介で注目される機会が増えたため、今後もより一層の活用が期待できる。よって本研究でもこのツイートを利用した。

2 目的

本研究では個人が書いた文章から本人の嗜好に沿った観光地をツイート付きで紹介するシステムを開発する。以下の本概要では、本システムを利用した者を「ユーザー」と呼ぶ。

3 システム概要

形態素解析のエンジンはMeCabを、意味の近いワードを導出するシステムとしてword2vecを使用する。word2vecのコーパスにはWikipediaのデータを用いる。またツイートを収集する手段としてGetOldTweetsを利用する。いずれも開発言語であるPythonでのライブラリが用意されている。

4 提案手法

ユーザーの投稿を形態素解析で文章を分け、固有名詞を抽出し、word2vecによる類似単語を導出する。文章中に含まれる各単語からword2vecで導出した単語を全て足し算し、その結果出た複数の単語をユーザーの嗜好に沿う観光地のワードとする。そのワードと共に観光地として紹介しているツイートをGetOldTweetsを用いて表示する。

またその際には必ず画像付きツイートを表示する。提案手法の図を図1に示す。

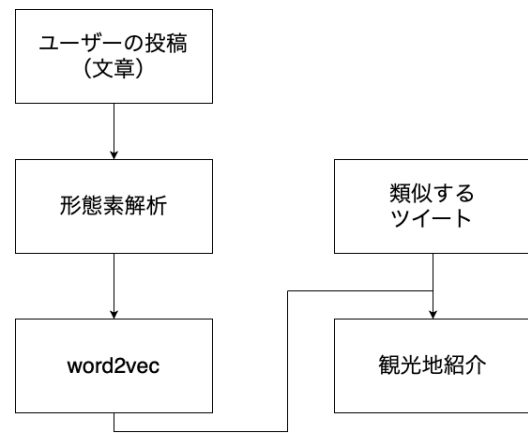


図1 システム概要

5 評価方法

ユーザーから評価を下してもらい、研究の成果を判断する。

6 結果

複数人に対して以下の項目のアンケートを取得した。

- ・おすすめされたツイートを見て興味が湧いたか
気に入ったか
- ・あまり知られていないようなオリジナルの観光地を見つけられたか
- ・自身の投稿からの関連度は高かったか
- ・今後使っていきたいか
- ・使っていて面白いのか

7 おわりに

本研究ではツイートを収集することで、あまり知られていない観光地への推奨を行なった。